

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働		【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・差別のない雇用条件による契約を徹底し、相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8			10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・各種ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、適時周知している					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8									16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・法改正について適時管理者に連携・共有し、長時間労働の抑制を図っている ・週1日ノ残業デーを実施している											8.5 8.8									
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・【予定】外国人労働者を雇用する際に適切な処遇や労働環境の整備を行う					4.4						8.7 8.8			10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・ヘルメット着用徹底、高所安全の徹底等適時安全管理者より周知し、徹底している				3							8									
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・【予定】メンタルヘルスに関する方針と計画を策定し、社内に周知する				3																
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・定年後の再雇用、60歳以上の中途入社を積極採用することで若手への技術継承を進めている						5.1 5.5					8.5			10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・部署ごとに社内基礎研修、社外研修等を整備し実施している				4	5.5					8	9									
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・【予定】正社員以外の採用を検討する際、法令に基づいた雇用契約の整備、対応を行う						5.5					8.5			10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ					3						8										
		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物を適正に分別することで廃棄量を削減し、素材ごとにリサイクル業者へ回している														11.6	12.4			14.1		
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・省エネ診断結果を踏まえた事業活動温暖化対策計画書を策定し推進している										7.3							13			
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・省エネ診断結果を踏まえた事業活動温暖化対策計画書を策定し推進している										7.2 7.3							12.4	13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を使用した材料を発注、使用しないよう周知徹底している				3.9			6.3							11.6	12.4					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮したROHS対応製品を主として使用し、生物多様性安全に配慮している						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・工場内廃棄物の再利用を推進するため、分別方法の周知と分別を徹底している									12.5	14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4	6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ											12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則に明記し、社内への周知徹底を図っている															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為防止について文書の掲示、口頭での周知により関与しない方針を徹底している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許等知的財産権の適正な管理について文書で社内周知徹底している							8.2	8.3	9								
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報を扱う部門、担当を専任し、情報管理ルールに基づき管理を行っている																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5			8		10	12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3				8	9	10							17	

※ 「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

